

No 48  
31 July 2015

日本・パプアニューギニア協会会報

# ごらくちよう

Bird of Paradise

発行  
NPO法人 日本・パプアニューギニア協会

発行日  
平成27年7月31日

編集  
NPO法人 日本・パプアニューギニア協会広報部  
〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-15  
シティーマンション赤坂2階 日本ビジネスライン(株)内  
Tel:03-5545-5100 Fax:03-3588-0776



## 第12回 年次総会開催

安田 達朗 (当協会戦跡アーカイブス委員)

6月26日、日本パプアニューギニア協会総会が開催されました。

まず冒頭に山下会長より昨年度の個人会員は112人から160人に大幅の増加となったものの、法人会員は5月末で1社減の34社となっており、新規加盟を推進していきたいとお話がありました。

総会では事業報告、会計報告、活動計画、予算審議、新役員体制に対して質疑が行われ、前年度決算が満場一致で可決され、今年度の活動が紹介されました。

対外メディアとしては発行回数を増やしたメールマガジンが非常にタイムリーになり好評を博しているとのこと。ホームページによる情報伝達に続いて、留学生への支援金、toktok会の活動を紹介。今年度終了報告としてはソマレ閣下の受賞パーティーや関西支部などの報告がありました。今年度より関本理事、志村理事及び成岡理事が新任となり、志村理事が副会長に就任されました。

その他、報告内容に島サミットについて重要性の認識が下がっているのではないかと懸念が表明されました。パプアニューギニア関連のゴルフ大会の開催が協会・大使館・友好議員連盟の三者で10月または11月に開催予定。青梅のカフェニューギニにて賀集理事

の展示会および親睦会の報告。法人会員企業より、投資トラブルの報告がありました。弁護士に会社の株式の一部を任せたと、いつの間にか全株譲渡の扱いとなり会社が乗っ取られたとのことで、日本との投資協定締結後の信頼を裏切るようなトラブルは、協会としても大使館や国と連携し、しっかりと対応していきたいと表明がなされました。

続く、懇親会では交流から投資まで活発な意見交換が行われました。私としては、今年度スタートいたしました「戦跡・アーカイブズ委員会」について、説明させていただきました。協会の活動やこれまでの70年間の日本とパプアニューギニア交流の様々な団体の歴史を含めた活動記録を整理し、現地の史跡の調査とガイドブックを完成させ、今後の観光事業の拡大の準備をしようとするものです。

懇親会の中で聞かれたのは、今後も、日本パプアニューギニア協会は太平洋諸国で一番の大国として、しっかりとした交流体制、投資貿易体制を整備していきたいとのことでした。交流というのは、きれい事ばかりでなく、しっかりとしたパートナーとしてのあり方を模索し、協会はよきサポート機関であればと思う次第です。

## 平成 27 年度 役員理事リスト

名誉顧問	大河原 良雄	財団法人世界平和研究所理事長、元駐米日本国大使	理事	阿部 英寿	株式会社かもめ 代表取締役 社長
名誉顧問	マイケル・マウエ	前 駐日パプアニューギニア特命全権大使	理事	及川 正博	立命館大学 名誉教授
名誉顧問	ガブリエル・ドウサバ	駐日パプアニューギニア特命全権大使	理事	賀集 イレーネ	アルゼンチン共和国弁護士
顧問	堀江 正夫	東部ニューギニア戦友遺族会会長、元参議院議員 元日本・パプアニューギニア友好協会会長	理事	川口 正義	旭化成建材株式会社 海外事業室 室長、日本旅行作家協会会員
顧問	安田 藤一郎	全国ソロモン会 会長	理事	喜多村 裕介	元 JICA ポートモレスビー 所長
顧問	日本パプアニューギニア 友好議員連盟の諸先生	代表 田中 和徳 (衆議院議員、日本パプアニューギニア友好議員連盟会長)	理事(新任)	成岡 圭子	株式会社 郡産業 代表取締役
名誉会長(理事)	村田 吉隆	前 日本パプアニューギニア友好議員連盟会長	理事(新任)	鈴木 紀久代	新潟パプアニューギニア協会 事務局長
名誉顧問(理事)	谷口 誠	桜美林大学北東アジア総合研究所特別顧問、 前日本パプアニューギニア協会会長、 元駐パプアニューギニア日本国大使、元日本国連大使	理事	関本 暁	住友林業株式会社 資源環境副本部長
会長(理事)	山下 勝男	元 駐パプアニューギニア日本国大使	理事	長 宏行	財団法人 オイスカ 国際協力部 部長
副会長(理事)	唐沢 敬	立命館大学 名誉教授	理事	西山 肇	前 駐パプアニューギニア日本国大使
副会長(理事)	中村 弘	晃和木材株式会社 前代表取締役 社長	理事	花井 練太郎	鈴鹿ロータリークラブ会長、鈴鹿国際大学 客員研究員
副会長(理事・新任)	志村 容一	シムラロッヂ オーナー	理事	原 晃	コーエイ総合研究所顧問、元 PNG 政府外国人契約公務員
事務局長(理事)	島田 謙三	元ニューギニア航空日本支社長、日本ビジネスライン株式会社 代表取締役	理事	武藤 優	株式会社 パプアニューギニア海産 代表取締役
			監事	村越 裕之	コスモメディア株式会社 代表取締役
			顧問 弁護士	土屋 耕太郎	土屋法律事務所 弁護士
				中村 哲郎	小川総合法律事務所 弁護士

### 委員会

・学術・渉外	唐沢理事(委員長)・長理事
・奨学生	賀集理事(委員長)・成岡理事
・総務	島田理事(委員長)・長理事・喜多村理事
・行事・Toktok会	原理事(委員長)・鈴木理事・阿部理事・西山理事
・広報	川口理事(委員長)・村越理事
・行事・レセプション	島田理事(委員長)・武藤理事・村越理事・川口理事・関本理事
・組織開発	中村理事(委員長)・花井理事・郡理事・及川理事・志村理事

### 事務局

・事務局長	島田 謙三
・事務局次長	大嶋 康弘
・事務局次長	中村 彰
・事務局次長(新任)	辻 尚志
・事務局員	増元 章子

## 自衛隊によるPNG国防軍への音楽教育支援

### 協会事務局取材

防衛省によりますと、6月23日(火)、パプアニューギニア国防軍軍楽隊の2名が来日し、8月7日(土)まで約7週間の予定で、朝霞駐屯地に所在する陸上自衛隊中央音楽隊において現在音楽教育を受けています。

この試みは防衛省では初めてとなる音楽分野での能力構築支援とのことで、昨年9月に防衛省の岩田陸上幕僚長がパプアニューギニア国防軍司令官のトロポ准将と懇談した際、同司令官から楽器供与と軍楽隊に対する教育支援の要望があったことを契機として、今回実現したそうです。

現在のところ、パプアニューギニア国防軍には伝統的なバグパイプとドラムからなる小規模の軍楽隊しかなく、一般的な吹奏楽で使用される楽器(木管、金管、打楽器)も保有していないとのことですが、国防軍は吹奏楽編成による本格的な軍楽隊の新編を目指しており、2018年にパプアニューギニアで実施されるAPEC首脳会合の場において、新たな軍楽隊で式典など大規模な音楽演奏を行うことを目標としているとのこと。今回来日したのは、国防軍軍楽隊に所属するアイナ・ニキ陸軍大尉とロバート・

ナンベンガ陸軍伍長の2名で、吹奏楽編成の軍楽隊の基幹要員となることが期待されています。

パプアニューギニアでは学校教育に音楽の授業がなく、多くのパプアニューギニア人は楽譜が読めないのはもちろん、ピアノやリコーダーにさえ触れたこともないのが現状です。2名は、陸上自衛隊中央音楽隊において軍楽隊の組織・隊務運営、指揮法・楽器奏法・行進演奏、音楽理論など幅広い教育を受け、吹奏楽編成による軍楽隊を新編するために必要な技能を習得する予定とのこと。これまでに基礎的な音楽教育しか受けていない彼らにとって、7週間という期間は決して長くはなく、教育内容も厳しいものになっているようですが、母国軍楽隊の新編に向けた2名の志は非常に高く、日に日に上達して軍楽隊員としての道を歩んでいるそうです。

防衛省としては、今回の教育支援を通じて、日本とパプアニューギニアとの間の相互理解及び信頼関係の増進に寄与したいと考えているとの心強いコメントを頂戴いたしました。



PNG軍楽隊教育  
楽器奏法  
(左: アイナ大尉、  
右: ナンベンガ伍長)



PNG軍楽隊教育  
ソルフェージュ  
(左: ナンベンガ伍長、  
右: アイナ大尉)



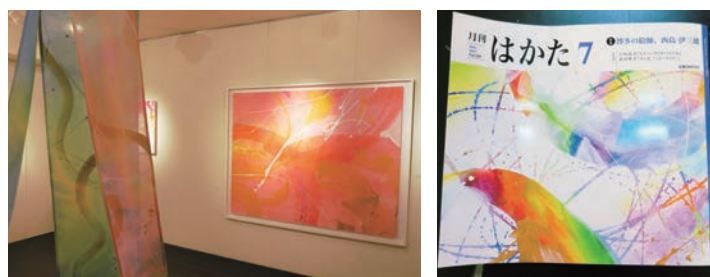
## 八坂 圭展を訪ねて

川口 正義 (当協会理事)

福岡は折から勇壮な夏祭り「博多祇園山笠」。そんな熱気の中、恒例の大売り出しでにぎやかな天神新天町にある「ギャラリー風」に出向きました。お目当ては、福岡在住の画家・八坂圭さんの個展です。

八坂さんはパプアニューギニアに大変御縁の深い方です。埼玉県鶴ヶ島市で当時保管されていたパプアニューギニアの造形コレクションに出逢ったことで触発され、市民ボランティアグループ「ポリトライブ」に参加されてPNGを広める活動をされました。そしてPNGへの思いはますます強くなりゴロカ大学に美術留学までされました。かなりコアなPNGの心酔者ですね。今は数々の個展や国内外での出展、アートレッスン、更に屋外での創作や「月刊はかた」の表紙の担当等、大活躍をされています。

八坂さんは特殊な生地のキャンパスに絵具を浸み込ませながら、拡がり・奥行きのある独自の宇宙を描き出されています。八坂さんは PNG について次の様に語ります。「今の時代は、パプアニューギニアの精霊文化を真剣にとらえ直す時です。自然



「Promise of light」極楽島をイメージした作品。  
福岡の情報誌「月刊はかた」の表紙にも飾られています。

の中に潜んでいる目には見えないものを感じて表現する、それを学んだのはパプアニューギニアです。先進国の文明にとっても大事だと思います。アートを通じて、目に見えないものの背後にあるエネルギーを感じ取ってもらえればと思っています」

今後については「PNG 留学時代にホストファーザーとしてお世話になった方（イギーさん）が亡くなってしまいました。PNG に出向いてそのお葬式をしっかりとやりたいです」と語る八坂さん。彼の心身に充満した「精霊」のパワーを皆さんも是非体験してみてください。秋には東京・六本木でも個展が開催されます。(2015年9月23日～10月4日(28、29日は休廊)「湘南台エムワイ画廊 Shonandai MY Gallery」  
<http://www.shonandai-g.com/>



### プロフィール

- 1974年 福岡生まれ
  - 1993年 西南学院高等学校卒
  - 1998年 第8回 ART BOX 大賞展 福田繁雄審査員賞受賞
  - 1999年 多摩美術大学大学院卒
  - 2002年 パプアニューギニア ゴロカ大学卒
  - 2001・02・03・05・08・10・12年 銀座ギャラリーゴトウにて個展
  - 2007年 飯田橋ギャラリー 52にて個展
  - 2009・11・12年 福岡ギャラリー風にて個展
  - 2011・12年 モダンアート展入選
  - 2010・11・12・13年 六本木 Shonandai MY Galleryにて個展
  - 2010年10月より、「月刊はかた」表紙を担当
  - 2013年 福岡・大丸アートギャラリーにて個展
  - 2013年 OFF アートフェア出品 (ベルギー)
  - 2013年 アジア美術家連名会員
- <http://www.yasakakei.com/>

## 舞台『南の島に雪が降る』東京公演のお知らせ

劇団前進座 上沢美咲



日程	会場		開演時間
8月	2日(日)	熊本 宇土市民会館	13時半
	7日(金)～17日(月)	東京 三越劇場	
	18日(水)	東京 武蔵野市民文化大	15時半
10月	19日(月)	三重 松阪市民文化会館クラギ文化	13時半・18時半
	20日(火)	静岡 清水文化会館マリナート	14時
	21日(水)	長野 長野県民文化会館中	14時・18時15分
	25日(日)	山形 山形市民会館	14時
	26日(月)	山梨 山梨県立県民文化ホール小	18時15分
	28日(水)	福島 福島市公会堂	14時・18時15分
	29日(木)	千葉 青葉の森公園芸術文化ホール	14時
	30日(金)	群馬 前橋市民文化会館大	14時半
11月	3日(火)	埼玉 彩の国さいたま芸術	14時
	4日(水)	茨城 ひたちなか市文化会館大	14時

戦前戦中と前進座の俳優であった加東大介氏のニューギニアマノクワリでの戦中の実体験『南の島に雪が降る』を舞台化致しました。

※東京公演のみ、特別割引料金を設けております。東京公演定価 6,800 円のところ、6,000 円となります。前進座にお申し込みの際に『日本パプアニューギニア協会』様とお申し出ください。よろしくお願い致します。

前進座 お問い合わせ先：0422-49-2811

去る2015年7月21日、ポートモレスビーのラマナホテルにて、弊社の道路安全商品「ポールクッション」の寄贈・設置記念式典を執り行うことができました。在パプアニューギニア日本大使館からは松本盛雄大使、山内康裕一等書記官にご出席いただき、NCDC(国家首都地区委員会)からはCity ManagerのLesley Alu(レスリー・アル)さま、Deputy City ManagerのSimon Vai(サイモン・ヴァイ)さま、上級技師のRavu Frank(ラヴ・フランク)さまなどにご出席いただき、また前駐日パプア大使のAiwa Olmi(アイワ・オルミ)さまからお言葉を頂戴いたしました。

株式会社未来開発(前田徹社長)は大阪に本社を置き、住宅開発・建築事業をはじめ、高速道路などに設置され人命を守る車両用衝突緩衝装置(ショック・プロテクター、ポールクッション)や無機ELシートやLEDを用いた道路標識・設備標識などを手掛ける道路安全事業、水に濡れた床面の滑りを防ぎ転倒事故を防止する防滑改修ソグナップなどの防災関連事業、また日本では私立・公立高校の先生方とともに研究会を立ち上げ、子供たちの「論理的思考」を育む教育教材・アプリの開発などの教育関連事業を展開しており、それらのシステムをパプアニューギニアにおいても紹介しています。

パプアニューギニア、なかでも首都ポートモレスビーの発展は著しく、パシフィック・ゲーム(南太平洋地域のスポーツ大会)を目前に国会議事堂から空港を結ぶ自動車専用道路が建設されたり、わずか数日のうちに信号機が設置されたりとインフラの整備が急速に進んでおります。一方で交通事故



も多く、死亡事故も発生していると聞きました。そこで微力ながら、交通事故の犠牲者を少しでも減らすため、弊社はこの度、市内3か所に計4基の衝突緩衝装置「ポールクッション」を設置し、NCDCに寄贈いたしました。今回の式典は、このポールクッションの設置・寄贈とこれからNCDCと更なる協力体制を構築することを祝い、関係各大臣や協力企業のみなさまにご出席いただいた次第です。

同様の目的で、間もなくマーカム行政区にもLED式の道路標識を8基、設置し寄贈させていただきます。同地区は首都ポートモレスビーに比べればまだまだインフラの整備が遅れてはおりますが、パプアニューギニア最大の貿易港Lae(レイ)からハイランド各州を結ぶ幹線道路の要所として重要であり、ここでも力強い発展の息吹が感じられます。同地区で初めてとなるLED式の道路標識を設置することで、少しでも交通の安全と発展に貢献できれば幸いです。

私ども未来開発はまだ小さな一企業でしかございません。しかしながら、近い将来には日本企業の皆様のご協力を仰ぎながら、パピリオンの建設を進めさせていただきたいと考えております。つきましては今後、協会の皆様にはご助言・ご協力をお願いする場面が多々あろうかと存じます。私どもの小さな力も、協会の皆様とともに大きな意志となり、力となり、流れとなり、結果となると信じております。

株式会社未来開発の経営理念「三方よし」の精神で、PNGの今後の発展に誠に微力ではございますが尽力させていただく所存です。今後ともどうぞよろしく願いいたします。



## 事務局からのお知らせ

終戦70年の終戦の日が近づき、当協会にも各方面のメディアからのニューギニア戦のお問い合わせが多数ありました。先の大戦においてニューギニアで散華されました皆様に哀悼の意を表したいと思います。

## 【協会事務局の移転のお知らせ】

協会事務局を担当する日本ビジネスライン株式会社の転居に伴い、協会の事務局が8月中旬より次へ移転いたします。(8月末日まで新旧電話、ファックス、住所はどちらも利用可能)

〒102-0074

東京都千代田区九段南2-2-1

エース九段ビル8階

TEL:03-5216-3555

FAX:03-5216-3556

Email: info@jpgng.or.jp (変更なし)

(電話は日本ビジネスライン(株)と共用です)

## 日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的とし、文化、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

会員数 ◆ 法人会員:34社 ◆ 個人会員:161名 (2015年7月31日現在)

お問い合わせ先 日本・パプアニューギニア協会 事務局 〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-15 シティーマンション赤坂2階 日本ビジネスライン(株)内  
Tel:03-5545-5100 Fax:03-3588-0776 E-mail:info@jpgng.or.jp URL:<http://www.jpgng.or.jp/>

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。

申し込み方法 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。

年会費 個人会員5,000円 法人会員50,000円 学生1,000円 PNG人1,000円

会費受付 郵便振替口座をご利用ください。

口座番号 00140-2-277582

加入者名 トクビ ニホン パプアニューギニアキョウカイ